

## 新学部長あいさつ

# 学部長に就任して

経済学部長 塩見 治 人



瑞山会会員の皆様、ますますご活躍のことと思います。私は、この4月より第18代目の経済学部長をつとめています。敬愛する内藤前学部長のあとを継ぐのは誠に光栄ですが、前学部長が素晴らしい業績を残されただけに、つくづく責任の重さを実感しています。そのスタンスを堅持しつつ、前学部長の革袋に新しい酒を1が私の向こう2年への本旨です。

就任以来、何度あいさつを求められたでしょうか、その度に現時点は「複合節目」の状況下にあると繰り返してきました。それは何よりもこれからの私自身を律していくキーワードとしていくためであり、また幾らかは経済学部の構成員すべての注意を喚起するためでありました。変貌する産業社会のなかにあつて経済学部はとくに、大きな転換期のただなかにあると、私は考えざるを得ないのです。われわれ経済学部はちょっと立ち止まって考えてみる局面に来ているのではないかと考えています。

そのような会員の皆様のふるさとの近況をお伝えしたいと思います。

まず今年、2億円近い設備投資で最新の情報機器類が導入され、学部の情報処理をめぐる教育・研究が一新されます。1964年にわが国の文科系では最初に大型計算機をもつ学部として設立された当時から、われわれ経済学部は情報教育・研究には先駆的な努力を傾注してきましたが、さらなる飛躍が期待されます。

つぎに国際学术交流の部面です。昨秋は瑞山会の皆様にも多面的なご支援をいただき、学部はじまっ

て以来という15名の訪中団を結成して、北京の中国社会科学院日本研究所、北京大学、武漢の江漢大学、天津の南開大学など中国の6大学・4研究機関との学术交流シンポジウム、セミナーを10日間にわたって開催し、大成功裡に終えることができました。とくに中国社会科学院日本研究所との3日間の北京シンポジウムは、中国マスコミの注目するところとなり、中国中央テレビでは5分間ちか特集を組んで放映するところとなりました。また同研究所とはこの交流を契機に学术交流協定が締結されて、長期的な展望をもつ共同事業がスタートしました。今秋10月はその第2年目として、中国の学者、研究者15名を招待し、全国から著名人を招いて盛大な名古屋大会を開催すべく、準備が着々と進行しています。瑞山会挙げてのご支援を切に望んでいます。また皆様の交流への参加も期待しています。

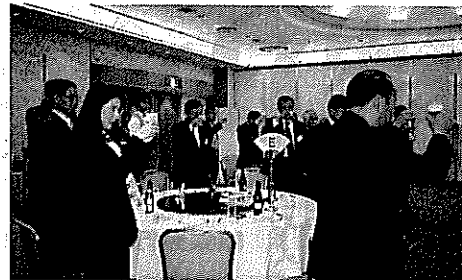
最後にどうしてもお伝えしたいのは、経済学部

既設の経済学科、経営学科に加えて、更にもうひとつ新学科を増設して、学問の先端分野に挑戦しつつ新時代に対応できる人材を養成して、地域の産業界、自治体などの要望を担っていこうという機運が、学部

の先生方の中で次第に高まってきているということです。選択を誤らないようにと思っています。

経済学部卒業生は、今春の第30期生で約6,000名となりました。企業や地域でそれぞれに指導的な役割を果たしてきておられ、喜ばしい限りです。われわれ経済学部の全構成員は、実社会の現場でご活躍の皆様へ、存在感のある教育・研究活動を発信して、励ましを送りつづけるふるさとでありたいと念じています。どうか一層のご支援をおねがいたします。

## ◆◇ 平成9年度通常総会兼代議員会開催される



平成9年11月8日(土)午後5時より平成9年度瑞山会通常総会・代議員会が名鉄グランドホテルにおいて開催されました。開会挨拶、物故者黙祷の後議長、書記選出がおこなわれ議事が審議されました。審議内容は次の項目でした。 1)平成8年度経過報告および事業報告 2)平成8年度決算報告、平成9年度予算案報告 3)新役員選出 4)名簿第6号発行結果状況、瑞山会支部助成の状況、瑞山会ホームページ開設にむけての準備の4点が報告されました。議題はいずれも賛成多数で承認されました。引き続き、山本俊幸医学部同窓会会長、榊原仁作薬友会会長など来賓の方々を交えてなごやかに懇親パーティーがおこなわれました。

## ◆◇ 平成8年度決算報告

### 第19期 貸借対照表

(平成9年3月31日現在) (単位 円)

貸方	金額	貸方	金額
普通預金、現金	3,772,023	未払金	57,057
郵便振替口座	10,000	運営基金積立金	14,026,782
中国ファンド	1,906,836	(うち当期剰余金)	(2,224,074)
貸付信託	6,560,000		
金銭信託	1,834,980		
合計	14,083,839	合計	14,083,839

### 第19期 収支計算書

(自平成8年4月1日 至 平成9年3月31日)

(収入の部)

(単位 円)

勘定科目	予算額(A)	実績額(B)	差額(B)-(A)
会費収入 (新入会費)	4,180,000	4,180,000	0
(その他)	0	0	0
各部預金利息	4,000	3,376	△624
運営基金利息	170,000	77,783	△92,217
運営基金戻入	0	0	0
その他	0	0	0
収入計	4,354,000	4,261,159	△92,841

(支出の部)

(単位 円)

勘定科目	予算額(A)	実績額(B)	差額(B)-(A)
名簿追録発行費	200,000	0	△200,000
会報発行費	1,800,000	787,359	△1,012,641
総会費	400,000	211,115	△188,885
事務費	500,000	227,138	△272,862
通信費	120,000	42,043	△77,957
事業運営費	1,000,000	769,430	△230,570
予備費	200,000	0	△200,000
支出計	4,220,000	2,037,085	△2,182,915
当期剰余金	134,000	2,224,074	2,090,074
合計	4,354,000	4,261,159	△92,841



注)  
 名簿追録発行費：当期は追録を発行しませんでした  
 会報発行費：当期は会報発行が年2回のところ1回でした

## ▶▶ 1997年度役員名簿

### ●理事

#### 会長

前田 勝昭 1期生 (岡崎)

#### 副会長

近藤 常夫 1期生 (平田)

多和田 眞 4期生 (岡崎)

佐藤 克己 8期生 (岡崎)

#### 庶務部長

八木 得三 5期生 (山本)

#### 副庶務部長

伊藤 孝 6期生 (山本)

#### 庶務部

浅井 和良 1期生 (静岡)

渡辺 尚泰 3期生 (柴田)

杉本 仁 8期生 (岡崎)

小笠原幸生 6期生 (中居)

荒深美和子 9期生 (木村)

倉地 弘美 14期生 (松永)

木村 剛 17期生 (辻)

吉田 和男 20期生 (國村)

坂野 之信 21期生 (牛嶋)

松阪美枝子 27期生 (根津)

#### 編集部長

榊原 茂 1期生 (松永)

#### 副編集部長

服部 篤典 18期生 (安藤)

### 編集部

手塚 祥郎 1期生 (牛嶋)

前田 進 4期生 (松永)

伊藤 幸雄 5期生 (妙見)

鈴木 正彦 7期生 (芝原)

田中 喜夫 7期生 (岡崎)

寺沢 賢治 11期生 (牛嶋)

水野 誠 13期生 (宮川)

松川 倫典 16期生 (塩見)

湯浅 伸庸 18期生 (安藤)

中村 英利 20期生 (西田)

石川 勇治 21期生 (上村)

森本 浩二 21期生 (中居)

柴田 光晴 22期生 (神山)

家田 嘉人 26期生 (星野)

高山 浩之 26期生 (國村)

西 理恵 26期生 (國村)

清水 綾子 30期生 (多和田)

柚田 明子 30期生 (安藤)

### 事業部長

逸見 和弘 1期生 (松永)

### 副事業部長

杉浦 晴義 5期生 (松永)

### 事業部

都島忠比古 3期生 (山本)

浅岡 邦康 3期生 (傍島)

木村 新作 5期生 (岩橋)

伊藤 政明 5期生 (柴田)

加藤 実 6期生 (宮川)

岡田美津雄 10期生 (中居)

村岡 範久 15期生 (松井)

畔柳 一 19期生 (星野)

赤羽 廣一 21期生 (妙見)

石川 常彦 23期生 (國村)

### 名簿部長

中村 正治 5期生 (木村)

### 副名簿部長

児島 完二 22期生 (妙見)

橋本 光生 18期生 (醍醐)

### 会計部長

坂野 修 2期生 (山本)

### 副会計部長

児島 和世 22期生 (國村)

### ●監事

栗野 泰次 1期生 (大山)

松原 隆二 4期生 (中居)



## ▶▶ 学部人事異動

### ●平成10年3月31日退職

- ・教授 (経済政策Ⅰ) 上村 政彦
- ・教授 (経営会計) 岸 志津江
- ・助教授 (経済政策Ⅰ) 福重 元嗣
- ・助手 (経済理論) 松葉 敬文
- ・助手 (経済政策Ⅱ) 橋本 浩幸
- ・助手 (付属経済研究所) 佐藤 雅代

### ●同年4月1日採用

- ・助教授 (経営会計) 奥村 雅史
- ・講師 (経営会計) 余田 拓郎
- ・講師 (経営会計) 出口 将人

### ●同年5月1日採用

- ・助手 (経済理論) 富田 惠美

### ●同年4月1日異動

- ・学部長 (兼務) 塩見 治人・経済政策Ⅰ
- ・付属経済研究所長 (兼務) 根津 永二・経済政策Ⅱ
- ・助教授 (経済政策Ⅰ) 田中 彰・講師より

## ▶▶ 卒業式・入学式

平成9年度の卒業式は、3月25日 (水)・白鳥センチュリーホールにて行われました。経済学部では第31期生として181人が学び舎を後にしました。

引き続きヒルトンホテル4階にて謝恩会が開催され、出席者150名余りが見守る中、前田瑞山会長より成績優秀者5名への瑞山会賞の表彰がなされました。

平成10年度の入学式は、4月6日 (月)・白鳥センチュリーホールにて行われ総員625名・経済学部212名が入学しました。

瑞山会賞受賞者は以下の方々です。

牛山真志さん、梅村綾子さん、門元圭美さん、坂田美香さん、田澤宗裕さん



# 新しい時代を創る人と人とをつなぐ ネオ・キャリア・ネットワーク Vol.4

七原 仁人 さん [第1期生] 株式会社東海銀行 常務執行役員 融資部長

編集部 [●] このプログラムは、第4回目となります。「現在、社会において、様々なキャリアでご活躍される名市大経済学部卒業生の皆さんの「人と仕事」をご紹介しますことで、OB相互や学生との交流、自己啓発のお役に立ちたい」というのが、この企画の目的です。これまでも民間企業の管理職の方々にお話をお伺いしましたが、今回は、金融機関でご活躍される「第1期生」の七原さんです。設立当時、新築でピカピカの大学はどうでしたか？

七原 [○] そうじゃないんですよ。当時の名市大は、旧建築を利用した古い建物でした。ただ、国内でも有数の大型コンピュータを設置し、経済学に数学や統計学を応用する「近代経済学」、中でも計量経済学が売りの新設大学だったんです。当時60年代の大学をとりまく環境は、日米安全保障条約や学園紛争などを背景に、理論経済学としてのマルクス経済学が主流で、マクロ経済を統計的に扱う計量経済学は、まだまだ少数派でした。私は、理想を持って、計量経済学の子ゼミに入りました。同期生には、現在、北海道大学教授の内田さんや、京都産業大学教授の寺町さんなどがいます。コンピュータも、パソコンの普及した現在では考えられないような大型で、アメリカで展開していたオペレーションズ・リサーチなど勉強していたわけです。レベルこそ違え、現在金融市場で話題になっているコンピュータによるプログラム取引や、デリバティブ商品に通じるルーツをやっていたんですね。



●第3回の伊藤さん夫妻の時でも話題になりましたけど、金融取引では、普通の人は、儲かると、どんどんエスカレートして、結局、大きく損をしてストップがかかりますよね。でも、大きな損をした人の裏に、大きく儲けている人もいます。その人は、儲かっているのにストップしたり、損しているのにエスカレートさせたりしているわけでしょう。こんなこと常人の感覚では耐えられないですよ。

○だから、デリバティブはね、数式とコンピュータなんです。生身の人間が、一瞬、アレ？ と思うような判断を、ものすごいスピードで繰り返すプログラムや、デリバティブ商品を開発し、運用し、利益を出す世界です。開発、運用をするインド人やユダヤ人の金融エンジニアの年俸は、20億円を超えていると言われています。

●現在の金融市場は、ビッグバンとか、私たち一般市民を巻き込む形で、大きな変化の中にありますね。長期化、構造化するデフレ経済の進行もあり、金融も、いろいろとご苦労の多い仕事だと思っておりますが、いかがですか。もう少し個人資産を運用できる金融商品の開発とか、景気の回復に対するご活躍に期待したいのですが。

○そうだね。バブルの時期は、東証平均株価38,000円、アメリカは2,000ドルだった。現在は、15,000円で、9,200ドルでしょう。10,000ドルを超えともいわれている。すっかり「常識」が逆転してしまった。東海銀行でも、外国為替法改正にあわせて、外貨預金をスタートしたが、そもそも外貨預金というのは、内外の金利差よりも為替変動の幅が大きく、円安、つまり、中長期の自国経済が弱くなることを期待する商品なんだね。だから、あまりシフトするのも変な話でね。銀行が、もっと有利で安全な商品を、競って売り出す時代が早く来なくちゃいけないと思っているんです。

●日本の金利は低すぎるという思いはありますね。  
○確かに、老人や障害者などの生活弱者の保険や年金や基金は、5.5%での運用を前提としている。現行金利は1-2%でしょう。しかし、デフレ経済下での企業の基礎体力を考えると、預金者のために、ただ金利を上げることはなかなか困難。銀行の貸し

渋りの原因も、外国の金融機関との自由競争生き残るために、日本の銀行が自己資本比率を高めているからだけではない。アメリカン・スタンダードを日本の唯一の選択肢として、最も悪いタイミングに、しかも性急に入れすぎたことが大きい。一律に融資先の企業を格付けして、それに応じて融資するシステムが導入されたために、これまでとは違って、減速経済下では、全体的に急速に借りにくくなる。日本の企業の多くは、デフレ経済の長期化で、のきなみ資産デフレと売上低下の中にあり、収益性を低下させている。すると、多くの企業が、ますます借りにくくなる。悪循環だね。本格的なデフレ経済に対して、現実の処方箋は、未だ書かれていない。戦後、成長基調の日本経済は、本格的なデフレーションについての知識や経験に乏しいですからね。私の銀行マンとしてのキャリアの中で、最もシビアな環境、大変な時代だと思う。今日、さらに問題は、一企業や、一国のレベルを超えている。個別の対策だけでは、世界の中の日本経済や、市場構造の変革という現実を動かすことはできないからね。

●しかし、その現実には、私たちの生活はすごく影響されています。私も、七原さんが日本有数の都市銀行の取締役のお立場で、こうした現実に向かい合いながらのご苦労されている事実に触れる時、本当に言葉がありませんね。

ちょっと、少し気分を変えて、取締役になられるまでの、懐かしいお話をお伺いしたいと思います。

○私は、1968年に東海銀行に入行以来、東京勤務が大半で、役員になる今日に至るまで、本当に転勤族でした。ですから、東京に家があり、今の私は、単身赴任ですよ。初めての支店長も世田谷支店でしたし、バブル経済の時は五反田支店。バブル崩壊後は、大阪の梅田支店。総務部長として名古屋と東京を行ったり来たり。役員になってから、初めて岡崎や岐阜を見るようになったんです。

●バブル経済の下での東京の支店経営というのは、どうだったのですか？どんな現実には遭遇したのですか？

○バブルの真っ最中に、五反田支店の開設準備委員長をやりました。当時の銀行は、不動産やノンバンクに集中して融資戦略を展開していましたが、私は、一切、こうした業界と取引をしませんでした。それは、銀行の支店の「あるべき姿」に照らすと、何かおかしい。エプロン姿の主婦や、商店主、サラリーマンの皆さんで、フロアが活気づいている状態こそ



が、その地域に出店した支店の使命、あるべき姿ではないかとイメージしていましたから。

●そうは言っても、業績圧力というのは強かったでしょう。トップダウンとか、部下とお客様との間の「営業の現実」の中で、業績責任を持つ支店長としては、いろいろ葛藤も多かったと思いますが。

○そうですね。ただ、東海銀行の新規開設店は、3年間は業績査定対象から外されるなど、業績圧力から自由に、中長期的な施策をうちやすい「しくみ上の利点」はありました。そこで私は、「銀行の地域密着とは何か」を考え続けながら、預金先、融資先の口座数の拡大を行動の基本として、店周500メートル以内の個人や、商店、中小企業との取引件数の拡大を最大テーマとしたのです。当時は、他にも新設店が出され、多くは不動産融資に集中して、短期間にすばらしい業績をあげていました。結構、支店長というのは権限委譲されているから、かなり独自性は打ち出せるんですね。私のような基準で支店を運営したのは、少数派でしたが、今や現実として、私のイメージしていた支店だけが残り、残念ながら他は廃店という結果となりました。短期の収益性を重視するあまりに、失ってはいけない価値基準が、バブルの多きなうねりの中で変わってしまったんですね。

●銀行の支店長というのは、私が思っているよりも、自由裁量があるんだなと思いました。いろいろなエピソードをお持ちでしょう。

○やはり、初めて支店長をした世田谷支店が「原体験」になっています。私が赴任する以前は、大変に業績が悪く、20年の歴史があるのに、残念ながら赤字で廃店候補に上がっていました。もともと「東海銀行」という名前でも、東京に支店を出しているとい

うハンディがあります。何を拠り所にして、その土地でがんばるのか。その時、仙台支店での行員時代のことを思い出したんです。地元大手の電力会社の出向社員で作っている地域物産商社の営業マンが、「うちの商品をお中元に使って欲しい」と来られたんです。「関連会社に出向して物産の訪問営業だと、さぞモチベーションも下がっているだろう」なんて気持ちでお会いしたら、いきいきと「物産の拡大で地域経済が伸びれば、社業の電力も伸びますから」と言われましてね。地域の発展と社業の拡大との結びつきを、自分で信じられるような「働く目的」にできているんですね。目からうろこが落ちるといふか、感動しました。地域の発展だけ考えれば、社業はついてくる。「東海銀行」という名前の銀行が、その地域に根づくには、こうした姿勢を貫くしかないと確信できました。ですから、世田谷支店でも、赴任してすぐ私は、渉外マンに、「今日はもう、外回りはいいいから、全員で、地域への貢献という基準で、この支店をどうしたいのか」とブレン・ストーミングを呼びかけました。一人一人は、結構アイデアを持っていて、例えば、当時ではまだ主流ではなかった「個人向け住宅融資」というテーマが出てきた。さて、どうするか。迷ったら現場へ。すると空き地に建築確認の看板がいくつもあるじゃないですか。見過ごしていたものです。どんどんボラロイドにとって集めさせました。そして、営業を重ねる。ある日、部下から「ラーメン屋で、東海銀行は住宅の個人融資に積極的だと聞いたので、ローンの申し込みに来た人がいる」と報告され、目指しているものが実現していく実感が得られて感激したものです。2年間で、融資額は2倍、全国トップで表彰される支店になった。何よりも、部下の一人一人が、「やればできるじゃないか」と、仕事を通じて自信をつけてくれたのがうれしかったですね。

●業績が悪いと、管理職は、部下と向かい合って「なぜ売らないんだ」とやってしまいがち。でも、七原さんは、ごく自然に、「地域への貢献」という「基準」を提示して、部下と向かい合うのではなく、日々がんばっている部下とお客様との接点にある事実を直視して、うまくかみ合うよう考えさせたり、支援をされてますよね。七原さんのようなマネージャーの下だと、働きやすそうですね。

○部下にとっては、ある意味、大変だったと思いますよ。だって小口融資をやるより、不動産1社に100億貸す方が楽ですからね。でも、徹底した地域

密着主義。さらに「地域への貢献」という基準から外れたら、結果が出ていても満足しない。そう決めたんです。本拠地の東海地区では当たり前のことでも、東京や大阪といった他地区では、強くそれを意識しないと、その地域に根づいた企業として通用しません。たまたま他地区が長かった私が実感し身につけた「基準」は、役員になった今でも変わる事はありませんね。

●同じ事実を見ていても、「基準」が違くと、気がつかないことって多いですよ。しかも、最初から、「基準」があるわけではない。「基準」は、言葉で伝わるようなものではなく、現場で成功したり、痛い目にあって身につくものですね。その上、支店長というのは、研究者じゃなく経営責任者だから、実業の世界で、顧客や競合企業、環境の変化にスピーディーに対応して、常に判断、実行し、成果を出し続けなければいけない。大変ですね。

○スピードは大切ですね。だから、今の若い部下には、僕のやり方が気に入らなくても、僕の部下である間は、ついてきてくれ。それでも、やっぱりおかしいと思ったら、支店長になった時に、自分の思うように変えてやってくれと言ってるんです。せいぜい僕の任期は2年だから、ってね。僕のやり方は、最初の3ヶ月で、現場をつかんで、仮設を立てる。例えば、今の岐阜支店、東海銀行だから、岐阜は地元だと思うでしょう。でも、現実はずうんだ。部下と徹底的にブレン・ストーミングやって、現場の事実を出し合うとわかる。じゃあ、地方公共団体向けの融資を伸ばそう。徹底してやる。成果が出る。やればできるじゃないか。じゃあ次のアクションにいかうか。だめなら変えようや。みたいな。絶えず、「事実は何か」を意識することが重要ですね。

●東海銀行の支店長とか役員というのは、なろうと思っただけのものじゃないというか。雲の上の人というか。普通の人と、どこがどう違うと、そうなるんものなのではないでしょうか？

○仕事は早い方だと思います。それと、いつも人と違う事をやろうという思いはありましたね。新入社員のところ、ある支店長から「麻雀ばかりじゃなく、一日一時間でも本を読め。長い間には、随分な差になる」なんて言われ、先輩や上司など人から学ぶのと、同じくらい、書物から多くを学びました。また、30歳の時に、社内選抜試験に合格して、1年間、中小企業大学校で学びました。中小の商店街が大手スーパーと競合しつつ、どう共生していくかを学びま



した。印象深いのは、実地研究した山梨の従業員5～6人の金物屋が、徹底したビジョン経営を實踐して、本当に上場してしまったことです。こうした成長企業や、経営者にお会いした時に、その事実や思いを受け止められる「感受性」みたいなものが必要ですね。同じ事実と向かい合っているのに、「あっ、そう」ですませて通り過ぎてしまうのと、感激して自分のものにするのでは、大きな結果の差になります。

●人はついつい見たいものしか見ていませんからね。どうして、七原さんは、ありのままの事実を見れるようになったんですか。

○うーん、まだまだですよ。変な自意識に執着すると、変化する事実や、ビジネスのヒントに気がつかない。過去の成功体験や、常識のような固定観念にとらわれずに、現場の変化を見ることの必要は、いつも感じています。現場の事実の中から、いいと思ったことは、すぐに取り入れていく。何のためにとという目的が明確なら、取り入れるにも、捨てるにも、スピードがつくと思いますね。自分が変えられるかどうかだと思います。

●自分を変えと言っても、七原さんのそれは、「方法」を自らの意志で変化させるだけで、自分が実現したい「目的」とか、信じられる「基準」が変わるわけではないですからね。

○そうです。自分の「目的」を達成するために、自分の行動や考え、「方法」を変えるんです。地域を始め、個人から社会全体にいたるまで、「貢献」という目的の実現なしには、金融機関の存在意味はありません。ここは変わらない。以前、アメリカの銀行を視察しまして、本当に、個人顧客に対するサービスを徹底させているんですね。社会が成熟すると、

企業にも財務的な体力が付き、以前ほど銀行を必要としなくなっていく。そこで銀行は、個人の「したいこと」の実現に貢献していくことが必然になります。個人の「したいこと」にうとい銀行は淘汰されていきます。そのことに心から気がついて手をうっている銀行は、まだまだ少ないでしょう。その点、今や、リテール・バンキングのあり方など、アメリカの銀行から学ぶ事は、たくさんあります。

●現役の学生を始めとする若い世代の皆さんに、一言お願いします。

○私だって正解を持っているわけではありません。結果はわかりません。機会があれば、名市大の社会人大学で、「現在の」経済学を学び直したいくらいですね。今の流れを早く、的確につかむことが、本当に大事です。情報の速さが勝利につながる。僕の好きな「三国志」の教えですね。いかに早く情報を得て、すばやく手を打つか。これがポイントです。それと、気分転換も大事です。悩んだり、膠着した時は、頭が真っ白になるまで泳ぎますね。飲んで紛らわしたり、過去を引きずるのではなく、一度、頭の中を真っ白にすることで、ありのままの事実や、大切なものがはっきりと見えてくるんです。

[1998年5月6日 東海銀行・岐阜支店 応接室にて取材]  
編集委員 清水 綾子[30期生] 湯浅 伸庸[18期生]

### ■ 編集部からのお知らせです ■

●この企画に登場していただける方のご紹介を、自薦、他薦を問わず、お願いいたします。下記の編集部あてに、ご連絡ください。●インターネットの時代。同じ学部在籍した事をキッカケに、現在、企業人、自営業者、公務員、教育者、主婦、学生といった様々な職業や役割、個性を持つ人々が、世代を超えて、自由なコミュニケーションを楽しむ誌上やネット上の「サロン」を、快いスピードで実現したいと思えます。●また、企画への参加の有無に関わらず、ご感想やご意見なども、お気軽にお寄せいただければ幸いです。

〒452-0824

名古屋市西区こも原町16 服部方  
瑞山会報編集部宛

または e-mail atstique@rr.ij4u.co.jp まで

## 事業部便り

平成9年11月2日に第30回OBゴルフコンペが豊田CCにて行われました。優勝は國村先生で、今までに先生が優勝されたのは初めての快挙です。準優勝は杉浦晴義氏(5期生)でした。同時に取り切り戦も行われ桜井利勝氏(1期生)が獲得しました。

11月9日には大学祭模擬店でOBコーナーを設け、皆様のお越しをお待ちしておりました。4月4日には山崎川花見と茶会が行われました。今年は例年になく暖かい日が続き桜が満開の中で、和やかに行われました。5月3日には第9回硬式テニスの会が開催されました。朝から降り出した雨も皆の祈りが通じたのか、昼からは止み晴れてきましたので何とか開始しました。雨天を危惧して参加者が減ってしまいましたので、コートで見つけた医学部関係者の方にも参加していただきました。結果なんと優勝は医学部卒内科医の佐藤孝一先生(S49年卒)と加藤実氏(5期生)の組でした。準優勝はかって経済学部事務室で私たちの就職の世話を焼いてくれた長坂登氏と、安藤氏でした。長坂氏はフルマラソンで勇名を轟かしていましたが、(本人談)、筋肉を傷めてテニスに転向したところでした。今回を機会に他学部との交流をテニスコートでも繰り広げて行きたいと考えています。記事をお読みの皆様も来年ぜひご参加ください。5月9日にはさくらCCにて第31回OBゴルフコンペが行われました。優勝は西垣英昭氏(1期生)、準優勝は伊藤博文氏(2期生)でした。次回は10月17日瑞陵CCの予定です。11月には大学祭模擬店にOBコーナーを設置しますのでお出かけ下さい。

## 瑞山会支部活動報告Vol.1

### 平成9年度 瑞名会総会・懇親会開催

平成9年9月19日(金)午後6時30分より、千種区覚王山通にある「ルブラ王山」において、平成9年度瑞名会(瑞山会 市役所支部)総会及び懇親会が開催され、55名の同窓生が出席しました。

総会は、9年度の幹事を担当した水道局及び下水道局の中から司会を担当することとなった水道局の奥村氏の開会のことばで開始され、9年度で2年目を迎えた塩田哲男瑞名会会長より会員数が300人を超えるようになったことの紹介と意義を含めたあいさつがなされました。

総会では新会員の紹介が行われ、出席した5人の新会員一人一人から自己紹介とフレッシュな抱負が述べられ、先輩達からの激励の拍手で総会が終了しました。

懇親会に入って、山田忠雄氏の音頭で乾杯が行われると会場の硬い雰囲気も一気にほぐれ、和やかに杯を重ねる中、会話も大いに盛り上がってきました。

余興も、恒例のピンゴゲームに代わって、今年度はお楽しみの抽選が行われ、番号が発表される度に大いに沸いていました。

今年度は開催日が市会の開会される直前であったため、急に出席できなくなった人が多く、今後の反省材料となりましたが、盛り上がりの中、あっという間の2時間が経ち、次年度幹事局を環境事業局及び環境保全局と決めて会の幕を閉じました。



## 就職のための学生とOB・OGとの交流会開催

毎年恒例になりました「OB・OGとの交流会(経済学部ゼミ協主催)」が昨年も11月7日(金)に開催されました。この企画は、就職活動を間近に控えた3年生の皆さんに、社会で活躍する先輩方と懇談する機会を提供し、就職活動の応援ができればという企画です。当日は午後から大学事務主催のガイダンスが行われ、引続き夕方より学生会館和室での交流会開催でした。まだまだ、景気の先行きに明るさが見えず、厳しい就職戦線が予想される中で真剣な学生諸君が多数参加されました。業務多忙の折りにもかかわらず、先輩方も、メーカー・商社・流通・マスコミなど多業種にわたってお集まりいただき、学生諸君よりの熱いこもった質問に、的確なアドバイスで応えていました。就職協定廃止で先の読みにくい戦線ですがこの経験をいかしての頑張りにも期待したいと思います。次回開催の折も、多方面にわたる業種、職種の皆さんのご参加をいただければと思います。

(20期生 中村英利)

## 瑞山会ホームページ開設にむけて

瑞山会では、インターネット上にホームページの開設準備を始めています。これまで、会員との連絡手段としては会報の送付など郵便を利用してまいりました。周知のようにインターネットが利用できる環境が、社会や個人で広く浸透しつつあります。これまでの連絡手段に加えて、新たに電子メールやホームページを活用し、円滑なコミュニケーションを実現できないかと考えております。

電子メールで時間や費用などの節約をはかり、ホームページには活動の記録を掲載することでこれまでの瑞山会活動を広く知っていただこうと思います。

公開URLアドレスについては、次号でご案内できる予定です。どのような内容を掲載したらよいか、などのご意見がございましたらご一報ください。瑞山会会報との連携も強化して、会員の皆様に十分な情報を提供して行く予定です。

□ 現在、掲載予定の内容は以下のとおりです。

瑞山会報記事(一部)・瑞山会会報バックナンバー(一部)・30周年記念事業資料(一部)・事業部だより(催しのご案内)

□ 電子メールでの受付としては以下を考えています。

会員住所変更・会員名簿の申し込み

□ なお、順次更新したい内容として、CGIやSSIなどの環境にもよりますが次のようなサービスがあげられます。アクセスカウンタ・関係部署へのリンク・伝言板、アンケート・メーリングリストサービス

御意見、御希望等ありましたら同封の葉書にてお寄せ下さい。



# 平成10年3月卒業学生の就職等状況一覧

名古屋市立大学経済学部

建設業 5 (2)	交 洋 1 (1)	Z 会 1 (1)
竹中工務店 1 (0)	小 売 業 9 (2)	イ - オ ン 1 (1)
日本電話施設 1 (0)	松 坂 屋 2 (0)	そ の 他 29 (13)
積水ハウズ 1 (1)	ユ ニ - 1 (0)	J T B 1 (1)
積水ハイム山陽 1 (1)	パ ロ - 1 (0)	オリエンタルランド 1 (0)
東海中央ホーム 1 (0)	ロ - ソ ン 1 (0)	日本トランスシティ 1 (0)
製造業 29 (14)	ア マ ノ 1 (1)	セントラル・システムズ 7 (4)
食料品・たばこ 2 (1)	プ ラ ザ - 販 売 1 (0)	C I F 1 (0)
山崎製パン 1 (0)	ダイワボウ情報システム 1 (1)	C S K 1 (0)
雪印乳業 1 (1)	ヤマハリビングテック 1 (0)	C T I 1 (1)
繊維工業・衣服・その他繊維 1 (0)	金融保険業 40 (12)	T K C 1 (0)
林テレンプ 1 (0)	銀行・信託業 23 (3)	日立情報システム 1 (1)
出版印刷業 2 (1)	東海銀行 6 (1)	日立システムエンジニアリング 1 (0)
竹田印刷 1 (1)	あさひ銀行 1 (0)	IBM東海情報ソリューション 1 (0)
エイエヌオフセット 1 (0)	十 六 銀 行 4 (1)	富士通中部システムズ 1 (0)
化学工業 2 (1)	大 垣 共 立 銀 行 2 (0)	名鉄情報システムズ 1 (1)
日本油脂 1 (0)	百 五 銀 行 1 (0)	菱電工機エンジニアリング 1 (0)
ノエビア 1 (1)	愛 知 銀 行 2 (0)	共立コンピューターサービス 1 (0)
鉄鋼・非鉄金属 2 (1)	名 古 屋 銀 行 3 (1)	百五コンピューターシステム 1 (1)
愛知製鋼 1 (0)	中 京 銀 行 1 (0)	エ - エ ム ア イ 1 (1)
三井金属工業 1 (1)	岐 阜 信 用 金 庫 2 (0)	シ - イ - シ - 1 (1)
金属製品 2 (0)	碧 南 信 用 金 庫 1 (0)	名南経営センター 1 (0)
青山製作所 2 (0)	証券・商品取引 1 (0)	アタックス今井会計事務所 2 (0)
一般機械器具 3 (0)	ダイワビューチャーズ 1 (0)	宮西計算センター 1 (1)
NTN東洋ベアリング 1 (0)	保 険 13 (7)	石川会計事務所 1 (1)
サンウェブ工業 1 (0)	東京海上火災保険 4 (4)	公 務 17 (6)
富士機械製造 1 (0)	安田火災海上保険 1 (1)	国 家 事 務 3 (0)
電気機械器具 3 (2)	日本火災海上保険 1 (0)	大蔵省国税局 1 (0)
日本電気 1 (0)	大東京火災海上保険 1 (1)	大蔵省名古屋税関 1 (0)
日本電装 1 (1)	日 本 生 命 1 (0)	建設省中部地方建設局 1 (0)
星崎電機 1 (1)	第 一 生 命 1 (1)	地 方 事 務 14 (6)
輸送用機械器具 8 (4)	安 田 生 命 2 (0)	愛 知 県 庁 2 (1)
トヨタ自動車 2 (2)	明 治 生 命 1 (0)	愛 知 県 警 1 (0)
アイシン精機 1 (1)	富 国 生 命 1 (0)	名 古 屋 市 役 所 6 (3)
ヤンマーディゼル 1 (0)	そ の 他 3 (2)	刈 谷 市 役 所 2 (0)
CKD 1 (0)	イ フ コ 1 (0)	四 日 市 市 役 所 2 (1)
中部トヨタリフト 1 (1)	セントラルファイナンス 1 (1)	川 越 町 役 場 1 (1)
ニッパン 1 (0)	ミリオンカード 1 (1)	備 考
シミズ工業 1 (0)	運輸通信公益事業 15 (0)	(注)
その他 4 (4)	運 輸 2 (0)	I ( ) 内数字は、女子の内数を示す。
コマツ 1 (1)	郵船航空サービス 1 (0)	II 本表は、進路届・就職内定届に
リonna 1 (1)	トヨタ輸送 1 (0)	基づき自己申告により作成した。
大日本紙業 1 (1)	通 信 4 (0)	III 従って、進路希望調査時に於いて
H I S A G O 1 (1)	NTT日本電信電話 3 (0)	て自営・進学・留学・帰国・国
卸売・小売業 21 (6)	東海テレビ 1 (0)	家試験等に分類した。
卸 売 業 12 (4)	電気・ガス・水道 1 (0)	
川鉄商事 1 (0)	中 部 電 力 1 (0)	大学院進学 4 (0)
阪和興業 1 (1)	非 営 利 団 体 8 (0)	帰 国 0 (0)
全日空エンタープライズ 1 (0)	国民金融公庫 2 (0)	国家試験等受験準備の為就職せず
サンゲツ 1 (1)	住宅・都市整備公団 1 (0)	19 (6)
愛 食 1 (0)	名古屋商工会議所 1 (0)	IV平成10年就職者数
ト - カ ン 1 (0)	名古屋港管理組合 1 (0)	158名内女子55名
伊 藤 伊 1 (0)	トヨタ生活協同組合 1 (0)	平成11年卒業予定者数
伊 藤 和 1 (0)	名古屋福祉協会 1 (0)	男 子 158名
レ ン ト 1 (0)	愛知県民共済 1 (0)	女 子 87名
宮崎商会 1 (0)	サ - ビ ス 業 31 (15)	計 245名
企達可鐘鋳有限公司 1 (1)	教 育 2 (2)	

**瑞山会 総会 (兼代議員会) のご案内**

平成10年度通常総会 (兼代議員会) が下記のとおり開催されることとなりました。ご家族そろっての参加も歓迎いたしますので、皆様お誘い合わせのうえ、是非ご出席くださいますようお願いいたします。

## 記

日 時 平成10年 8月22日 (土)  
午後 3:30～ 受付  
4:00～ 総会 (兼代議員会)  
4:30～ 6:30 懇親パーティ  
(豪華景品付きビンゴゲーム等)

会 場 名古屋駅東 豊田ビル11階  
「中国料理 頤和園」(イワエン)  
☎052-581-6471

会 費 3,000円 (小人2,000円)

出 欠 同封のハガキに郵便切手 (50円) を貼  
って、8月10日 (月) までに投函して  
ください。

連絡先 瑞山会庶務部長 八木得三 (5期生)  
☎052-704-5061 FAX 052-704-5082

**バーベキューの集いご案内**

瑞山会主催、恒例のバーベキューパーティーは3学部参加をさらに進める為、大学内で開催します。参加をご希望の方は、8月20日までに、お電話で下記連絡先へ予約するか、同封葉書にてお申し込み下さい。

日 時 平成10年 9月 6日 (日)  
12時集合 (雨天決行)

場 所 名市大経済学部キャンパス内

参加費 1人500円

連絡先 ☎052-872-5709  
名市大経済学部 資料室 倉地まで

ご家族連れで、ぜひご参加ください。

**瑞山会会員名簿の残部について**

昨年末に発行しました会員名簿第6号の購入について、会員の皆様には大変ご協力を賜わりまして誠にありがとうございました。

つきましては、まだ残部がございますので、未購入の方は是非購入されますようお願いいたします。料金は送料込みで4,000円です。(振込み手数料は自己負担です。) 下記あてご送金頂ければ直ちに名簿をお送りいたします。

## 記

(振込先) 東海銀行上前津支店 普通預金 口座番号: 1379210  
名義: 名古屋市立大学経済学部 瑞山会 会長 前田勝昭

**瑞山会年間行事予定**

- 4月
  - 第1日曜日 山崎川花見と茶会
  - 土曜日 OBゴルフコンペ
- 5月
  - 3日 (祝日) テニス大会 (硬式) (山の畑キャンパス)
- 9月
  - 6日 (日) 野外バーベキューの集い (山の畑キャンパス)
- 10月
  - 17日 (土) OBゴルフコンペ (瑞陵CCの予定)
  - 下旬 大学祭模擬店OBコーナー (山の畑キャンパス)
- 1999年1月または2月
  - スキーツアー (未定)
- 夏 (8月) 通常総会 (兼代議員会)
- 年3～4回 理事会
- 年2回 (春・秋) 瑞山会報発行

注) 日程・開催地などは変更になる場合があります。